

京 図

きょうと

京都市図書館情報誌

ものがたり

関西から



本で広がる世界 本でふくらむ夢

vol.29
平成24年7月発行



あなたの好奇心に答える

目次

- 2 3 特集 京都怪談巡り
- 4 5 特集 ご存知ですか？
こんな図書室・図書コーナー
- 6 図書館の特色紹介 洛西図書館
- 7 図書館小特集 図書館で楽しもう！おとなも楽しめる催し紹介
岩倉図書館 醍醐中央図書館
- 8 利用者の声 涼しさを呼ぶ一冊
- 8 編集後記

京都市図書館では、7/21～8/31の夏休み期間中、休館日のクールスポット開放を実施し、館内を図書の閲覧や読書スペースとして開放しています。（こどもみらい館は除く）詳しくはホームページ・図書館窓口等でご確認ください。 ○時間：午前10時～午後5時

※当日は返却資料のお受け取りのみとさせていただきます、貸出等の通常業務は行いません。





京都怪談巡り

歴史と文化の街、京都には、あちこちに無数の怪談話が語り継がれています。そのほんの一部を、怪談の舞台となった土地と共に紹介します。この夏、本を手に、怪談の語られている土地を訪れてみてはいかがでしょうか？

①丑の刻参り

貴船神社（左京区鞍馬貴船町）
鉄輪井（下京区堺町通松原下ル鍛冶屋町）
昔、夫に捨てられた女が、怨みを晴らすために貴船神社に詣でる。すると、赤い着物を着て、顔は朱塗り、頭に載せた鉄輪の三本の足に火をともしせば、生きながらにして鬼になり、怨みを晴らすことができる、というお告げを聞く。そうして、女は貴船神社に丑の刻参りをするのだが、途中で力尽きてしまい、自宅近くで息絶えてしまう。女が頭に載せていた鉄輪を埋めて塚を築き供養したという話がある。この塚が鉄輪井として現在に伝わっている。



鉄輪井

②頼光の土蜘蛛退治

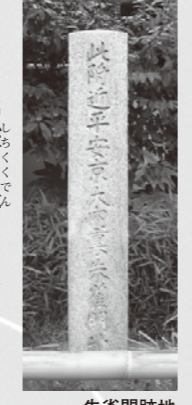
土蜘蛛塚（北区千本通北大路下ル十二坊町上品蓮台寺内）
土蜘蛛灯籠（上京区今小路通御前通西上ル東向観音寺門前町）
源頼光が病気で苦しんでいた。看病をしていた四天王も、みんなが寝静まっていた夜のこと。怪しい僧が頼光に縄をかけようとおそってきた。そこで頼光は枕元にあった名刀膝丸を取り、ぱつぱつと切りつけたが、僧の姿は見当たらない。騒ぎを聞きつけた四天王たちが集まりよく見ると、血の跡が点々と続いている。その血の跡を追っていくと、北野の後に大きな塚がある。この塚へ入り、すぐに掘り崩してみると、四尺（約1.2m）もの蜘蛛がでてきた。これを捕まえ、鉄の串に刺して河原にさらしてからは頼光の病気はみるみる快復に向かったという（『平家物語 剣巻』より）。



土蜘蛛灯籠（東向観音寺）

③朱雀門の鬼

朱雀門跡（中京区西ノ京小堀町）
笛を吹いていると、同じように笛を吹く不思議な男が現れた。それからというもの、月夜ごとに二人は「一緒に笛を吹き、やがて互いの笛を交換した。博雅が得た笛は葉二という名のすばらしい笛で、後に男が鬼であることが分かった。（『糸竹口伝』より）
また、中納言長谷雄に朱雀門で双六の勝負を挑んだ鬼が負けてしまい、勝った長谷雄は美女を得るとい話がある。じつはその美女は、都の美女の死体の美しい部分をつなぎ合わせたもので、長谷雄が手を触れようとすると水となって流れてしまった。（『長谷雄草子』より）



朱雀門跡地

④生の六道、死の六道

六道珍皇寺（東山区松原通東大路西入ル小松町）
生の六道石碑（右京区嵯峨釈迦堂藤ノ木町薬師寺薬師堂前）
「小野篁は閻魔の化身にして、常に冥府に往来し給ふといひて、五条の東に死の六道。上嵯峨に生の六道といふは、出入りの穴有し所なりと伝ふ」（『閑田耕筆』より）
篁は閻魔王の冥官として夜は冥界に行っていたようである。その冥界へ行くときには上嵯峨（現在の大覚寺門前六道町）の井戸を通ったと伝えられている。（『江談抄』より）



生の六道石碑（薬師寺）

⑤幽霊館伝説

（東山区松原通東大路西入ル小松町六道珍皇寺近く）
昔、鳥辺野に広い墓地があった。そのなかを清水坂へ出る辺に館屋があった。この館屋に夜になると決まって館を買りに来る女がいた。おかしいと思つて後をつけてみると、墓場へ入り、墓の中で消えて見えなくなった。夜が明け、墓へ行くと、土の中から赤ん坊の泣き声がする。墓を掘り返してみると、美しい母親の上で赤ちゃんが館をしゃぶつて泣いていた。死んだ母親が赤ん坊を産んで、毎夜幽霊になり、館を求めて育てていたのだ。珍皇寺の近くにあったその店は、その後「幽霊館」で売出しした。



『こそだてゆうれい』 さねとうあきら 文 いのうえようすけ 画 教育画劇

⑥羅城門跡地

（南区唐橋羅城門町）
謡曲「羅生門」は、一条戻橋に現れた鬼がモデルになっていると思われる。こちらは、源頼光の屋敷で酒宴を開いているときに、酒宴に参加していた藤原保昌が、羅生門に鬼がいると言いだすことから話がはじまる。渡辺綱は、本当かどうか確かめるために単身、羅生門へ向かう。すると噂通り鬼が現れ、綱は鬼の腕を斬り落とす。腕を奪われた鬼は「時節を待ち、取り返す」と叫びながら、雲間に消える。
芥川龍之介作で有名な「羅生門」は、『今昔物語集』巻第二十九の「羅城門登上層見死人盗人語巻第十八」を主資料としている。盗人が羅城門に登ってみると若い女の死体の髪を、白髪のお婆が抜いていた。盗人は衣と抜き取った髪を奪って逃げた。羅城門の二階には葬式ができない死人の骸骨がたかさん転がっていたという。



『羅生門』 竹内浩一 絵 小沢章友 文 「京の絵本」刊行委員会

⑦御香宮

（伏見区桃山御香宮門前町）
ある商人が都へ帰る途中で日が暮れてしまい、仕方なく御香宮の拝殿に入り込んで寝ることになった。しばらくすると、直衣姿の男に起こされる。「今から貴いお方がここで遊ばれるので、退いてほしい」と言われる。見れば美しい女性が侍女をつれて立っていた。やがて、酒宴が始まり、商人は酔いながら楽しんだ。商人が、そつと侍女の手を握るとそれを見ていた女は怒って盃を侍女に投げつけ、侍女の顔からは血が流れた。商人が驚いて立ち上がると夢がさめた。翌日、掛け並べられた絵馬の中に夢に見た女と侍女そっくりの絵馬があり、侍女の額には傷痕があった。「伽婢子」「絵馬之妬」より）



絵馬堂（御香宮）

⑧清盛手植えの楠

（下京区西大路通八条若一神社前）
昭和九年、西大路通に市電を走らせることになったときのことである。通りの真ん中にある若一神社は東に移転することで落着いたのだが、ご神木である清盛手植えの楠をどうするかで人々は困った。これまで、この楠を除こうとした者に事故や不幸が襲ったことがあり、神木のたたりとして恐れられていたのである。やはり誰も楠に手を出すものがおらず、とうとう神木はそのままに市電の軌道を曲げて敷くこととなったのである。



若一神社

【参考文献】

- ①『平家物語』有朋堂書店
- ②『京都・伝説散歩』京都新聞社編 河出書房新社
- ③『日本の鬼』近藤喜博著 講談社学術文庫
- ④『京都の魔界をゆく』か舎+菊池昌治著 小学館
- ⑤『京都妖怪紀行』村上健司著 角川書店
- ⑥『京都千年』七巻 邦光史郎編 講談社
- ⑦『京の伝承を歩く』福田晃著 京都新聞社
- ⑧『糸竹口伝』『群書類従』第十九輯 塙保己一編纂
- ⑨『長谷雄草紙』『日本の絵巻』十一巻 小松茂美編 中央公論社
- ⑩『閑田耕筆』『日本随筆大成』第一期十八巻 吉川弘文館
- ⑪『江談抄』『新日本古典文学大系』三十二巻 岩波書店
- ⑫『京の怪談』田中緑紅著 京を語る会
- ⑬『今昔物語』『新編日本古典文学全集』三十八巻 小学館
- ⑭『解註謡曲全集』巻五 中央公論社
- ⑮『絵馬之妬』『伽婢子』巻一 浅井了意 平凡社

CD紹介

「おにのうで」「冥土へとどく鐘」が収録されています。京言葉で怪談を楽しんでみてはいかがでしょうか？



CD「京ことばで語る昔話」 中島さよ子 語り 京ことばの会

京都市図書館では、CDの貸出をしています。利用方法は各図書館までお尋ねください。



1 視覚障害者支援 京都ライトハウス情報ステーション

昨年(平成23年)、京都ライトハウスは創立50周年を迎えました。視覚などに障害のある全ての人々が個人として尊重され、その人らしい自立した生活を営むことができるよう、『海なき灯台』として光を放ち続けます。

情報ステーション(旧称:点字図書館)は今年のスローガンとして、「目指せ!情報バリアフリー ~「読みたい・知りたい」に全力で応えよう~」を掲げています。点字図書、録音図書(デージー図書、テープ図書)、拡大文字の図書など、視覚に障害のある方をサポートする様々な媒体を揃えています。



- 住所** 京都市北区紫野花ノ坊町 11
- 電話** 075-462-4579
- 開館時間** 10時~17時(月・水・土) 10時~19時(火・木・金)
- 休館日** 日・祝・第2水曜日・年末年始
- URL** <http://www.kyoto-lighthouse.or.jp/services/read/id/37>
- 貸出** 1人10タイトルまで。郵送の場合は到着後20日間。手渡しの場合はその日から20日間。
- 発行冊子など** 利用者向けの『はなのぼう』、ボランティア向けの『情報ステーションだより』や、5種類の録音雑誌を1枚のCDに収めた『京まる』などを発行しています。

ご存知ですか? こんな図書室・ 図書コーナー

京都市には、それぞれの特徴をもった魅力的な図書施設があります。そんな専門図書室・図書コーナーをご紹介します。(情報は平成24年6月現在) 詳細は直接お問合せください。



4 まちづくり市民活動全般 ひと・まち交流館京都図書コーナー

地下1階の図書コーナーには、ひと・まち交流館京都を利用される方のニーズに応えるべく、景観、建築、介護、福祉、ボランティア等の書籍を取り揃えています。資料の閲覧はどなたでも無料です。また、京都市に在住・通勤・通学されている方なら、利用者カードを作れば、資料の貸出や機器の視聴ができます。



- 住所** 京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町 83-1
- 電話** 075-354-8703
- 開室時間** 10時~20時30分(平日・土曜) 10時~17時(日曜・祝日)
- 休室日** 毎月第3火曜日(祝日の場合は翌平日)
- URL** <http://www.hitomachi-kyoto.jp/>
- 貸出** 1人につき5冊まで2週間貸出可(内、視聴覚資料は2点まで)
- 発行冊子など** 『ニュースレター京まち工房』ひと・まち交流館京都地下1階 京都市景観・まちづくりセンター発行

2 障害者スポーツ・レクリエーション 京都市障害者スポーツセンター図書室

児童書、小説から福祉・スポーツの専門書・点字図書まで揃えており、明るく開放的な雰囲気の中で読書を楽しめます。またリスニングルームを併設し、視覚に障害のある方々に録音テープの聴取に使用していただけます。さらに、拡大読書機器や点字プリンターも設置しています。障害のある方もない方もご利用いただけますので、ぜひお越しください。



- 住所** 京都市左京区高野玉岡町 5番地
- 電話** 075-702-3370
- 開館時間** 10時~16時30分
- 休館日** 毎週火曜日・毎月第3金曜日・国民の祝日の翌日(その日が休館日にあたるときはその翌日)・年末年始(12/28~1/4)
- URL** <http://www.kyoto-syospo.or.jp>
- 貸出** 1人につき5冊まで2週間貸出可
- 発行冊子など** 『京都市障害者スポーツセンター』(年4回発行)

5 環境問題全般 京エコロジーセンター 環境・図書コーナー

環境問題や環境教育に関連した資料が約5,000冊そろっており、お子さま向けの絵本から、大人向けの専門書まで、充実した内容です。京都市に在住・在勤・市内で活動されている方なら、貸出もできます。またビデオブースコーナーでは、アニメやドキュメンタリーなどの映画や映像を見られます。



- 住所** 京都市伏見区深草池ノ内町 13
- 電話** 075-641-0911
- 開室時間** 9時~21時(貸出は16時30分まで)
- 休室日** 木曜日及び年末年始(12月26日~1月4日)
- URL** <http://www.miyako-eco.jp>
- 貸出** 1人2冊まで2週間貸出可
- 発行冊子など** 『えこせん』地域のエコ活動の取り組みなどを紹介しているニュースレター。

3 男女共同参画 ウィングス京都図書情報室

1階の図書情報室には、男女共同参画社会の実現を応援するための各種資料、ミニコミ、ビデオ/DVD、コミックなどをそろえています。京都市在住、在勤、在学の小学生以上の方なら、利用者カードが発行できます。



- 住所** 京都市中京区東洞院通六角下る御射山町 262番地
- 電話** 075-212-0606
- 開館時間** 10時30分~20時30分(平日) 10時30分~17時(日・祝日)
- 休館日** 水曜日・年末年始(12/29~1/3)・特別整理期間
- URL** <http://wings-kyoto.jp>
- 貸出** 図書1人5冊まで2週間/ビデオ・DVD 1人2本まで1週間(図書と合わせて5冊まで・コミックは館内閲覧のみ3冊まで)*ビデオ・DVD・コミックは中学生以下の方は貸出/閲覧できません。
- 発行冊子など** 『講座案内 Wings Kyoto』

このほかにも特色のある図書室・図書コーナーがあります。詳しくは直接お問合せください。

7 京都芸術センター図書室

全国の展覧会カタログ、伝統文化、芸能、ダンスや演劇に関する書籍などを所蔵。(閲覧のみ)

- 住所** 京都市中京区室町通蛸薬師下る山伏町 546-2
- 電話** 075-213-1000

6 京都市国際交流会館 図書・資料室

世界約130言語の辞書や、約80か国の絵本、世界各国・地域の新聞、雑誌を所蔵。(閲覧のみ)

- 住所** 京都市左京区粟田口鳥居町 2-1
- 電話** 075-752-1187

8 京都市会図書室

主に、地方自治に関する図書を中心に、雑誌・新聞など様々な刊行物を所蔵。議員のための図書室ですが一般の方も閲覧できます。(閲覧のみ)

- 住所** 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町 488 市役所本庁舎2階東側
- 電話** 075-222-3709

9 京都市すまい体験館 すまいの専門図書室

建築・住宅・耐震・マンション・エコロジー・バリアフリーなど、「すまい」に関する基礎から応用までの書籍を所蔵。(貸出可)

- 住所** 京都市南区東九条南烏丸町 35-6
- 電話** 075-693-5131

10 京都伝統産業館ふれあい館図書室

伝統工芸関連書を中心に美術書、京都関連書籍、ガイドブックなど、専門書から一般書まで幅広く所蔵。(貸出可)

- 住所** 京都市左京区岡崎成勝寺町 9-1 京都市勤業館みやこめっせ地下1階
- 電話** 075-762-2670

洛西地域の皆様とともに四半世紀

洛西図書館は、京都市図書館としては最も西に位置し、竹林にかこまれた洛西ニュータウンの中心部、洛西総合庁舎の1階部分にあります。

所蔵資料は約6万4千冊、館内には、閲覧コーナー（一般・児童）、絵本コーナー「たけのこ島」のほか、ミニギャラリーもあり、1987年の開館以来、洛西地域の皆様をはじめ数多くの方々にご来館いただいています。

今年は開館25周年。地域と連携しながら皆様に親しまれる図書館づくりを目指します。

洛西図書館
西京区大原野東境谷町
2丁目1番地の2
☎333-0577

開館25周年記念事業

◆おはなし会リレー by 洛西読み聞かせの会◆

洛西地域の読み聞かせグループの交流会“洛西読み聞かせの会”により、おはなし会リレーを開催しています。

参画グループによるおはなし会（～来年3月）、その後は場所を移してリレー交流会（6月・10月・11月）にバトンタッチ。

親子連れの方ももちろん、おはなしの好きな方、読み聞かせ活動に興味のある方、子どもにいろいろな遊びを教えたい方、等々、大人も子どももどなたでもご参加いただき、絵本の世界を通して、洛西地域で読み聞かせの輪を広げていきたいと思っています。事前申込は不要です。お気軽にお越しください。

おはなし会（洛西図書館・絵本コーナー）



“洛西読み聞かせの会”に参画するグループが、毎月交替でおはなし会を開催します。ここでは洛西地域の小学校などを拠点として活躍しているグループが勢揃い。毎回参加して、洛西地域の読み聞かせをたっぷり味わっていただきたいと思います。



移動風景。迷路のようなルートをちょっと探検気分で移動します。



この日(6/16)は、あやつり人形“キョロちゃん”が登場。次の会場まで一緒に誘導してくれました。

リレー交流会（洛西支所会議室）



おはなし会終了後、洛西支所会議室に場所を移し、広くのびのびと会場を使って、パネルシアター、音楽朗読劇、わらべうた、工作、科学、紙芝居、手品、手遊び、等々、いろいろなテーマで、気楽に楽しく遊び気分で交流の輪を広げていきましょう。

◆今後の予定◆

おはなし会 8月4日、9月1日、12月1日、1月12日、2月2日、3月2日
おはなし会&リレー交流会 10月6日、10月20日、11月3日、11月17日
※いずれも14:00から
やむをえずスケジュールの変更を行う場合は、館内ポスター等に7周知しますのでご了承ください。

◆写真展“洛西図書館 今昔”◆

開館した昭和62年当時の写真などを集めてみました。四半世紀前の雰囲気が、ご来館いただいた皆様に伝われば幸いです。

3月まで、開館時間中はいつでも館内にてご覧いただけます。



□洛西の資料を収集しています□

洛西に関しての情報をまとめられたり、市販されない図書などを発行された場合は、是非、洛西図書館にご一報ください。

■ミニギャラリー■

図書館内のミニギャラリーにおいて、洛西地域の小学校の児童作品展を常時開催しています。

児童たちが一生懸命表現してくれた、絵画、書画、版画など、個性あふれる作品が、来館者の方々になごませてくれています。



図書館で楽しもう！

おとなも楽しめる催し紹介

京都市図書館では、おとなの方にも楽しんでいただける催しを行っています。

岩倉図書館

図書館の入り口に置かれたラジカセから何やら賑やかなお囃子が流れてきます。秋の一夜、ここ岩倉図書館が即席の寄席に早変わりです。児童コーナーの机を二つ重ねて赤の毛氈をかぶせ、ガラス窓を隠す大きな布を取付けて、毛氈の上に座布団を置けばもうそこは高座です。

演者は桂米朝門下の若手、桂二乗さん。お名前のおとりに二条通り近くにお住まいで、キャリーバッグに衣装を詰め込み、バスに乗って岩倉まで来てくれます。これまでに「はてなの茶碗」や「牛ほめ」など大人から子どもまで一緒になって笑える落語のほか、実際にお客さんに高座に上がってもらって小道具の扇子を使ってうどんを食べる仕種をしたり、手拭いに字を書いたり。お囃子が生でないのが残念ですが、ライブの落語を聴いて楽しんでいただけるそんな会を重ねて今年で4回目になります。

図書館で落語？と思われる方もありますが、岩倉図書館では落語以外にもチェロのコンサートやフォークコンサート（来場者の方々も一緒に歌っていただいています）、地元におられるさまざまな分野で活躍されている方をお招きしての講演会など、何らかの形で岩倉に繋がりのある方にご協力いただいています。地元のことを地元の方々にもっと知っていただきたい、図書館として地域に貢献していきたい、そんな思いでこれからも取り組んでいきたいと思っています。ぜひ岩倉図書館にお越しください。



落語会は毎年11月ごろに開催しています。

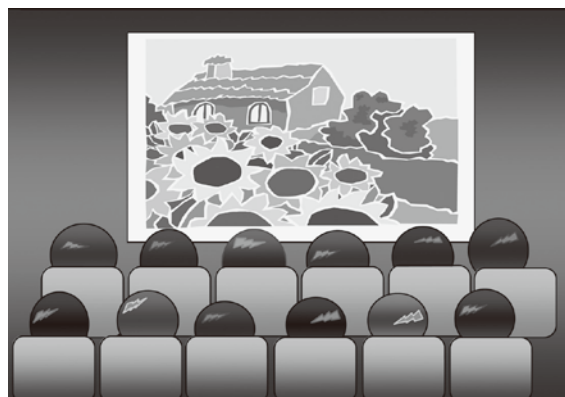
醍醐中央図書館

醍醐中央図書館では、「名画上映会」を毎月開催しています。約60名収容のこじんまりとした会場で、古今東西の様々な映画を和やかな雰囲気の中で、ゆったりと鑑賞していただき、ご好評をいただいております。上映作品は、当館所蔵のDVD等約4,500点の内、図書館で上映が許諾されている資料の中から選んでいます。

製作年代・製作国・上映時間・これまでの上映回数・ジャンル・参加して下さった方のご意見（アンケート）をもとに、作品の内容や評判などを考慮して、職員間で話し合っ決めていきます。

また年3回、カンヌ、ヴェネチア、ベルリンの各国際映画祭で受賞した作品を取り上げ、「映画祭記念特別上映会」を開催しています。会場内は毎回、笑いあり涙あり、懐かしさやスリルや感動に満たされます。

ご参加の皆様が、映画の醍醐味を味わっていただけることが私たちには大きな喜びです。夏休み・冬休み・春休みには、こども向けの上映会も実施しており、絵本を映像にしたものを取り上げるなど、お子さん・ご家族で楽しんでいただける企画もあります。どうぞ地下鉄醍醐駅の上、醍醐中央図書館のささやかなシネマスペースにお越しください。



…「名画上映会」 上映予定 …

- 8月19日（日） 「鬼戦車T-34」（1965年・ロシア）
- 9月 8日（土） ヴェネチア国際映画祭記念「摩天楼を夢みて」（1992年・アメリカ）
- 9月16日（日） 「三十九夜」（1935年・イギリス）

時間はいずれも午後1時30分から（開場1時15分）入場無料・定員約60名（先着順）

詳しくは市民しんぶん・京都市図書館HPをご覧ください

◆ 左京区 森山 時子さん (主婦)

退職後、旧街道歩きや古道歩きを始めた。琵琶湖一周ツアーは完歩できた。暑い時も寒い時も歩く。寒い時は歩くと暖くなるが暑い時は汗ダクで大変である。そんな時、森の中に入ると、緑の木々の間から風が吹き抜け涼しく感じホッとする。我が家に森の本が数冊ある。写真も多くパラパラめくるだけで涼しい気分になる。①『森の本』ネイチャー・プロ編集室 角川書店 ②『萌木の国』今森光彦著 世界文化社 ③『森の旅森の人』稲本正著 姉崎一馬写真 世界文化社

◆ 左京区 乗 伸介さん (フリーター)

霊的な恐怖ではなく人間の恐怖を描いたスティーン・キング著『ミザリー』。イカれた人間の何をするかわからない怖さ。映画版の作家を監禁するファン役のビジュアルが余りにも“普通”すぎて「隣人に居てもおかしくない」と思える「日常に潜む恐怖」がより臨場感を増す。人間不信になること受け合い。この映画版を観るきっかけになったのが、著者の作風に多大な影響を与えた愛すべきホラー映画を独自の視点で論じる『荒木飛呂彦の奇妙なホラー映画論』。この本から気になる映画を探すのもアリ。

◆ 左京区 T・Aさん (自営業)

涼くなる1冊といえば、思い出すのは高村薫著『マークスの山』。望まないのに狂わされる人の生。一家心中の生き残りの少年があるとき偶然、かつて一つの殺人があった事を知る。知人5人に殺され北岳山麓に埋められた者に代わり、彼が5人を次々とあやめていくのは、両親を死に追いやった世間への復讐だったのか?おぞけをふるう場面は終わりの方に……。ほかに幾つかの恐怖が重なり、背筋がゾーンとする本です。

テーマ

「私のおすすめの本」

涼しさを呼ぶ一冊

読書で涼しくなろう

◆ 南区 碓本 剛史さん

「最後の葉」「幸福な王子」を読んで。駆け抜ける涙とともに一服の清々しさを覚えるのであります。愛の業と天の恵みの完成が、定められております。自分さえ良ければいいのではなく、人の身代わりとなること、人に尽くすこと、心から悔い改めて、祝福のうちに心の命が救われることが私の思いのさ中であって、祈りとなって魂に突き刺さります。一粒の麦、地に落ちて死ななければただそれだけのことであります。死なば多くの実を結びます。私が人の痛みを忘れぬように。

◆ 南区 井上 敬子さん (主婦)

子どもが幼稚園に通い始めたので、新しい自転車を買いました。カバンの中に『京都・大阪・神戸 [名建築] ガイドマップ』を忍ばせ、さっそく自転車で出発です。

本の通りに、有名建築の横を走り過ぎて、目当ての安藤忠雄ビルに到着しました。カフェに入ると、テラス席のすぐそばで高瀬川がさらさら流れ、川からは心地よい風がそよいでいます。

ゆったりと泳ぐ鴨を眺めながら、優雅なひとときを満喫しました。

京図ものがたり vol.29

発行
平成 24 年 7 月

編集・発行
(公財) 京都市生涯学習振興財団・京都市中央図書館
〒604-8401 京都市中京区聚楽廻松山下町 9-2
TEL 075-802-3133
<http://www.kyotocitylib.jp/>
<http://www.kyotocitylib.jp/i/>



今回、京都市内にある図書施設や図書コーナーの紹介を担当しました。こんな文化施設にも図書コーナーがあったんだとか、以前からあった図書コーナーでも、バージョンアップして、さらに便利になったんだとか、いろいろと発見がありました。今度は、仕事を離れて、個人的に、ゆっくり訪ねてみたいと思いました。

子どもを共に育む京都市民憲章



社会のあらゆる場で実践し、行動の輪を広げましょう!

京都の怪談を調べていたら、面白い話がたくさん出てきて、どれを紹介して、どれを削るか、楽しく悩みながら選びました。中でも鬼の出でくる話が面白く、ついつい鬼の話が多くなってしまいました。鬼と言っても、いわゆる角が生えていて、真の毛皮のパンツを履いている現代の絵本のイメージの鬼ではなく、都の人々から見えて、異形のものや朝廷にたてつくもの、理解し難い恐ろしいものをまとめて鬼と呼んでいたのではないのでしょうか?久しぶりに古文を読んで、日本の古典の面白さも堪能しました(S)

編集後記

大河ドラマ「清盛」でちょうど平治の乱が放映された頃、京都の怪談について調べていました。後に怨霊となる崇徳上皇、清盛の邸宅跡にある手植えの楠、源頼光が土蜘蛛退治をした蜘蛛切。ドラマで見て、本で調べて、現地を見ることができた。京都に住んでいるということはなんと恵まれたことかと実感しました。二〇〇年前の京都には魑魅魍魎が跋扈し、人々は妖怪やもののけ、たたりなどを信じていた時代。皆さんも少しだけそんな時代に思いをはせてみませんか(H)